

令和6年度 社会福祉法人日野 日野こども園自己評価

【各園の特色や今年度、園として頑張りたいところ】

- 若手の自主研修を月に1度行っている。就職しても学べる環境作りをしている。研修だけでなく、コミュニケーションをとる場にもなっている。
- 作業療法士の山本先生に月に1度来ていただいて特別支援研修を行っている。
- 真心を込めた保育・教育活動を行うよう、努めている。
- 0～5歳の発達にあわせた保育・教育を行うよう、心がけている。
- 特性は個性と捉え、寄り添うことや目線を合わせて支援をすることを大切にしている。
- 地域・保護者の思いを大切にしている。
- 園というチームで保育を。チームで行えるようにしている。

	担当委員より
教育 ・ 保育内容	<p>昨年度に引き続き、園全体で、子どもたちのやる気を引き出すような保育を目指している。保育室の環境については、保育者がアイデアを出して子どもたちの発達に応じたレイアウトにしている。</p> <p>乳児クラスでは、視覚・聴覚に刺激がある保育が展開されている。子どもたちの興味に応じて、体を使って遊ぶことができるスペースも作っている。1歳児では自然物を使った感触遊びを子どもたちに経験させたい、という保育者の思いもある。指先を使った遊びができるような玩具も作成されている。2歳児では、保育者との関係性が良く取れていることがわかる。子どもたちの遊びに応じて保育者が寄り添う姿が見られる。子どもたちに丁寧に関わっておられる様子がうかがえる。</p> <p>幼児クラスでは、昨年度に引き続き、制作活動と遊びが有機的につながり、子どもたちがやりたいことを実現できるようになっている。3歳児では、お店屋さんごっこのなかから、子どもたち同士のやり取りも見られるようになってきている。子どもたちの育ちに応じて、保育者が意図的な環境を整えているので、子ども同士のやり取りが盛んになってきている。4歳児では、子どもたちのよく頑張っているところをクラスに披露する、「〇〇ちゃんデー」を取り入れられ、皆の前で褒めてもらう経験を積み上げておられる。5歳児クラスでは、子どもが作りたいものに応じて教材が手に取れるような工夫もされている。「つなぐん」にも取り入れられるようなアイデアである。絵本コーナーにおいては、全クラス図書館との連携を図り、良い絵本が</p>

	<p>導入されるようになった。</p> <p>どのクラスでも、1回目の助言を踏まえて環境や関わりが改善されている。子どもたちが自由にかつ楽しそうに遊びに参画している様子から、保育者全体が子どもたちの発達に応じた遊びを提供できるような環境を整えていることが分かる。保育者自身も保育を楽しんでいる様子もあるので、子どもたちと共にさらなる高みを目指した園づくりを期待したい。</p>
教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> ・市やこども園のカリキュラム、方針・目標に基づいて教育・保育活動を推進されている。 ・2クラスある学年は、基本となる約束を統一するようにされているのが良い。
安全管理 ・ 防災教育	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検や避難訓練をしっかりとされている。 ・避難訓練は、午睡時間や予告なしなどいろいろな時間や場面を予測し、避難訓練をされると良い。
家庭 ・ 地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事運営会議に出席され、老人会や区長会とも連携されるなど、地域に根ざしている。
職員の 資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭の研修の参加や栄養士の乳児保育研修の参加を受ける等の職員が学べる機会を作られている。また、月に1度、若手職員の研修の場を設けたり、作業療法士の方からアドバイスをいただいたりされている。体制が整っており保育に専念できる環境である。
食育・ アレルギー対応	<ul style="list-style-type: none"> ・給食室は常に、清潔な状態を保つようにされている。調理に使うものはもちろんのこと、給食室のエアコンも清潔にしてされていて、衛生管理が行き届いている。 ・新米を保育室で炊くなど、地元ならではの食材を使用し楽しんで味わい、食べることをされていて良い。
関係者評価の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートについても、課題をピックアップしながら、保護者や職員と連携し、課題解決に努められている。